



咬合は歯科にとって重要な治療要素であるのにもかかわらず、不可解で治療成否の曖昧なものと考えられていました。咬合治療の経験と勘に依る 方式を脱するために私達は、画像診断を咬合に取り入れ、客観的で幅広い診断を可能にしました。近年においてCT画像とその他の診査情報で、 咬合解析するには今まで以上に口腔解剖のアプローチが必須と考えるようになり、その結果多くの治療結果を生み出すことが可能になりました。 この流れの中で本総会では東京歯科大学解剖学講座教授の阿部伸一先生をお迎えして「顎関節症を基礎の立場から見直す」と題して特別講演を お願いすることになりました。阿部先生の長年の研究成果は参加者の先生方の臨床に役立つことを確信しております。またJPI咬合研修会の講師 陣によって最新のJPIによる咬合理論と咬合治療術式をご覧いただきたいと思います。 JPI咬合研修会総会 実行委員会、運営委員会

日比谷コンベンションホール(大ホール,日比谷図書館内)

東京都千代田区日比谷公園1番4号(大代表)03-3502-3340 日比谷線「霞ヶ関駅」徒歩約3分 JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分 三田線「内幸町駅」徒歩約3分 10:40~16:30 受付開始10:20より 定員 200名

開会の辞 JPI咬合治療システムの沿革

10:40~11:05



特別講演 「顎関節症を基礎の立場から見直す」

一顎関節の形態と機能一

11:05~12:35

東京歯科大学解剖学講座 阿部 伸一 教授

昼食,休憩

企業展示, 特別展示説明会 4F会議室AB 「新しい理念から生まれる治療装置、

フルカスタムインプラント、第3の補綴物」

-歯科治療に高付加価値を求めて、匠の競演-

12:35~13:50



講演「顎機能不全への画像診断の

有効性と機能運動路の変化」

JPI講師 東京都開業 武 義弘

13:50~14:20



講演「メタルスプリントによる

咬合治療の理論と実際」

JPI講師 奈良県開業 小川 淳司

14:20~14:50



基調講演「口腔解剖学からひもとく

新しい臨床咬合の全体像」

15:00~16:20

JPI講師 大阪市開業 重村 宏

*注意事項

歯科衛生士 5000円 学生 4,000円

歯科医師 10,000円 歯科技工士 7,500円 昼食は館内の2軒のレストランの利用か事前に申込いただいたお弁当 インターネットからもお申込いただけます のみ可能で食事の持ち込みは会館規約で禁じられております。ただ フタつきのペットボトル等はOKです。当日は日曜日につき周辺の

http://japancraft-jpi.com

Japan Craft.JPI 検索

お弁当代(限定80個) 1,000円(お茶付)

飲食店が少なくお弁当の予約をお勧めします。(限定80個)

申し込み・連絡先:〒537-0025大阪市東成区中道2-16-8 Ta 090-6555-6212 FAX 06-6981-8910 三井住友銀行 振り込み先: 玉造支店(普) 6649860 ジャパンクラフトジェーピーアイ(カ

ローマ字表記	3	振替口座名が参加者氏名 と異なる時の口座名		参加費	税込	お弁当付 参加	0費 税込
ご氏名		Co Pareco		□歯科医師 1	10.000円	□歯科医師	11.000円
勤務先名		TEL		□歯科技工士	7. 500円	□歯科技工士	8.500円
ご住所	Ŧ	FAX					
		メールアドレス		山密科衛生士	5.000H	□歯科衛生士 6.000円	
				□学生	4.000円	口学生	5,000円

\$2/19(B) JPI 咬合研修会 総会 学術講演会

日比谷コンベンションホール (日比谷図書館図



「顎関節症を基礎の立場から見直す」 - 顎関節の形態と機能 特別講演 東京歯科大学解剖学講座 阿部 伸一 教授

顎関節は顎運動を司る重要な器官であるため、歯科学の基本となる咬合、咀嚼などの問題と深く関わる。また機能的または器質的な変化から障害 を起こし、臨床上さまざまな問題を引き起こすことが知られている。したがって日常の臨床の場においても、また各種の顎関節疾患を扱うにも、その 病態を理解するには、顎関節の解剖学的な形態や機能を把握することがますます重要となってきている。顎関節は進化と発生から形作られた面と その後の機能の変化に適応して形成された二次的な要素を含んでいる。顎関節に影響を与えている要素として年齢や性別による機能力の違い、 歯牙の有無や食性の変化など様々なものが考えられる。そこで本講演では顎関節の発生について解説した後、顎関節の構造として、骨部、軟組 織部(関連する筋等)に分け、比較解剖を交え解説を行い基礎の立場から顎関節症を見直してみたい。

企業展示, 特別展示説明会 4F会議室AB 昼食 休憩

「新しい理念から生まれる治療装置、フルカスタムインプラント、第3の補綴物」

-歯科治療に高付加価値を求めて、匠の競演-

歯科補綴を取り巻く環境は、厳しいままである。歯科補綴が付加価値の高い良質な補綴物を生み出し「高収益」と「高い生きがい」を実現させること にしか生き残る道はないと考える。具体的には「咬合治療」のための高精度な治療装置の開発インプラント上部構造の進化形としてのフルカスタム インプラントの提示。補綴の歴史にあって床をベースにした総義歯や部分床義歯(第1の補綴)クラウンブリッジを中心とした補綴(第2の補綴)しか なかった歯科治療にいずれにも属さない歯科界に革新的な流れを生み出す「第3の補綴」を紹介したい。これらを中心として気鋭の歯科技工士が クリエイトした補綴物・治療装置を展示し製作者が説明するというセッションにしたい。

講演「顎機能不全への画像診断の有効性と機能運動路の変化」

JPI講師 東京都開業 歯科医師 武 義弘

一般的に大がかりな歯科補綴を必要とする場合は、どのように咬合再構成を行うかが避けられない要件となる。現在の咬頭篏合位を評価し、より 適正な下顎位への変更が必要か否かを検討しなければならない。この時ドーソン法などの手指による誘導の中心位採得がいまだに主流となって いるが、顎関節に問題がある患者に対して、咬合再構成をする必要が起きた場合、果たしてそれで適正下顎位の採得は可能であろうか?我々は 誰がみても術前よりも術後の方が顎関節内で下顎窩と下顎頭の関係でより正常であり目つ機能運動路も正常に近いと分かる治療結果を得る為に 顎位の変更を画像診断と顎運動計測より行い、この問題の解決に迫ってきました。今回はこの考え方を紹介しながら、顎に痛みがありかつ関節 雑音の主訴であった患者の顎関節画像と運動路から顎位を変更する装置(リポジショニングアプライアンス)の装着からプロビジョナルレストレー ション移行し最終補綴まで行い主訴の改善が見られた症例を提示したい。



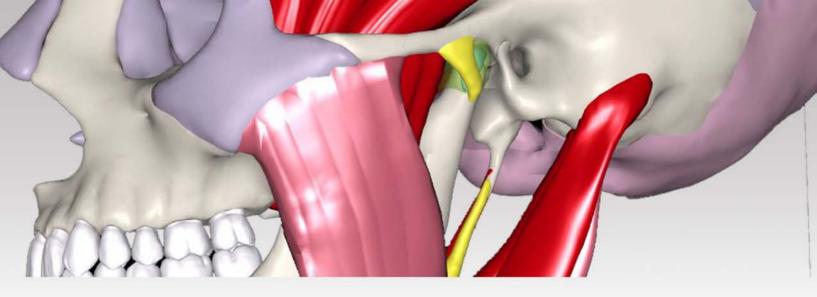
JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」 C4出口より徒歩約3分

B2出口より徒歩約3分

東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」 A7出口より徒歩約3分





講演「メタルスプリントによる咬合治療の理論と実際」

JPI講師 奈良県開業 歯科医師 小川 淳司

補綴治療において、治療の永続性を確保していく上で、できるだけ理想的な咬合関係を確立しておくことは必要条件であると言われている。現在は、JPI方式で補綴治療における適正下顎位を、客観的に求める方法は確立されつつある。大がかりな補綴治療が必要な症例ではなく、単に顎機能障害や顎関節症のような補綴を伴はない症例の場合には、歯質削除を伴ったクラウン形態の治療装置での治療が困難なときも多い。そのような、ほとんどが天然歯列の場合には、可撤式のメタルスプリントが顎偏位のリポジショニングや咬頭篏合位の安定などで有効になる。しかし、その装着感、審美性など、まだ改良の余地の可能性もある。そこで、同意を得た被検者から、複数の種類のメタルスプリントを作製し、それを装着することにより、その効果装着感、審美性の程度を述べていく。さらに、印象時の材料によって、どれだけメタルスプリントの精度が変わるかを検証し、本システムの総合的なシステムを確立したい。

基調講演「口腔解剖学からひもとく新しい臨床咬合の全体像」 JPI講師 大阪市開業 歯科技工士 重村 宏

咬合治療への重要性が注目されて久しい。患者の生きる価値観と密接な「咬合」をコントロールできることは歯科医療の夢であったが、反面「咬合治療ほど難解なものはない」。「咬合治療は不採算になる」、「咬合研修を受けても実践に応用できない」と思われてきましたこれらの問題から、周知のごとく私達は10数年前より画像診断を用いた咬合治療を行ってきました。術者が顎関節周辺の解剖学と生理学に精通していなければ正しい評価ができないのは当然のことでありますが、実は咬合学においてこのアプローチが貧弱でありました。顎関節のCTによる撮影しか個別性の高い顎関節の形態や位置関係を理解することはできませんが、解剖学を咬合に取り入れることによって深い咬合解析を可能にし新しい咬合へのアプローチが生まれます。この新しいJPIの方式を、3Dをまじえて容易な形でお伝えしたいと思います。



2/18(土) 第4回 フルカスタムインプラントテクノロジーミーティング開催 インプラントにさらなる付加価値を求めて

毎年、恒例のインプラントテクノロジストの集いであるフルカスタムミーティングが、2017年2月18日にJPI総会の前日に行うことが決まりました。第4回を数える本会は、試みとして会員以外の一般の歯科関係者にも参加を認めようと思います。参加条件としては会員の紹介をお願いしたいと思います。今回も例年のごとくテクノロジーを徹底して深めてゆくことができると思っております。

内容 会員発表 数題

重村 宏 主任講演「徹底した技術革新で上部構造の可能性を探る」 会場 ビジョン東京 ラウンジスペース 東京都中央区八重洲2-3-14

東京駅:八重洲中央口徒歩3分 八重洲地下街4番出口:徒歩1分

申込、お問い合わせ 080-5037-2265 宇佐美、0908376-3584 河村 まで

日時 2017年2月18日(土) PM 6:00~9:30

参加費用 18日と19日両日参加 14,000円

18日のみ参加 10,000円

懇親会費3,000円

Japan Craft.JPI 検索